

第36号

いしかわ 成人病予防センター だより

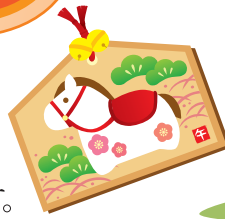
【新春号】

いしかわ成人病予防センターだより

第36号〔2014年新春号〕

発行日 平成26年(2014年)1月発行
金沢市鞍月東2丁目6番地
電話(076)237-6262
FAX(076)238-9207
郵便番号 920-8201
郵便振替番号 00750-7-16352
E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp
URL http://www.kenshin-ishikawa.or.jp/

明けまして
おめでとうございます。
本年も石川県成人病予防センターをよろしく願いいたします。



謹賀新年
2014



加賀市 山中温泉

ごあいさつ

公益財団法人石川県成人病予防センター
理事長 素谷 宏

あけましておめでとうございます。
国のがん検診受診率50%を目標値として5年経ちましたが、受診率30〜20%台を低迷する状況で、まだまだ目標達成にはほど遠い現状です。

石川県のがん部位別年齢調整死亡率の推移を見ますと、この10年間で胃がんは17%台から11%台に、肺がんは15%台から14%台に、大腸がんは12%台から10%台に、乳がんは9%台から11%台に、子宮がんは3%台で不変です。胃がん、肺がん、大腸がんではわずかに死亡率減少傾向、乳がんは微増傾向、子宮がんは不変となっています。

死亡率では実感がないので何人の人が1年間でがん死されたかという年間死亡数の推移でみるとこんな数字が並びます。

石川県の年間肺がん死亡数700人、胃がん500人、大腸がん400人、乳がん100人、そして子宮がん40人という数字はここ5年間横ばい状態で変わっていません。

がん検診受診率30%程度ではがん死亡を大幅に減らすには至っていないということが実態でしょう。

しかし、こんなデータもあります。
平成21年度の石川県登録がんの発見経緯のデータがあります。

それによると年間登録胃がん1,054人のうち、がん検診による発見は14.2%、そして肺がん898人のうち15.1%、大腸がん757人のうち27.6%、乳がん538人のうち23.3%、子宮頸がん76人のうち27.6%という数字をみると、がん検診も結構役に立っているなという感じがします。

がん検診対策プロジェクト室が発案した、「元気な時に健康を考える。いま健康だから「受けましょう」がん検診!」を今後のセンターのモットーとして広く県民にアピールしていきたいと考えています。
今年もがん検診で頑張りましょう。

第43回 日本消化器がん検診学会東海北陸地方会

東海北陸消化器がん検診の会・総会

静岡県浜松市アクトシティ浜松コンGRESセンターにて開催

第43回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会並びに東海北陸消化器がん検診の会・総会が静岡県浜松市アクトシティ浜松コンGRESセンターにて開催されました。今年度は、白山市健康増進課 竹内保健師さんに胃がん検診における受診者数増加に向けての取り組みについて発表していただきました。

胃がん検診における受診者数増加に向けての取り組み



保健師 竹内 映子

石川県白山市健康増進課
竹内 映子・加藤 純子

白山市では、がん検診の受診率が伸び悩んでいることが課題になっている中で、今年度の胃がん検診受診率向上に向けての取り組み結果について報告させていただきます。

胃がん検診における受診者数増加
に向けての取り組み

石川県白山市健康増進課
竹内 映子・加藤 純子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません。

白山市マスコットキャラクター
ゆきママとしずくちゃん

白山市の紹介

[市の生い立ち]
白山市は平成17年2月1日、1市2町5村(松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白幡村)の合併により誕生しました。
市を形成する4地域は、古くから、平野部は物流等の拠点として、山ろく地域は富樫白山のふもとに建立された多くの社寺の門前町として栄えてきました。

H25.4月1日現在
人口 113,074人 世帯人口 40388世帯 65歳以上人口占有率22.5%

[位置]
白山市は、県都金沢市の南西部に位置しています。白山国立公園や、県内最大の流域を誇る一級河川手取川、白砂青松の日本海など、山・川・海の豊かな自然に恵まれた地域であり、海岸部から山間部まで、およそ2,700mの標高差があります。

[面積・気候]
総面積は755.17km²であり、石川県全体の18%を占め、県内最大の広さです。
また、地目別面積は、「宅地」が2.4%、「耕作耕地」が5.8%、「林野」が73.5%となっており、全国でも降水量・降雪量の多い地域に属しています。

白山市の紹介

白山市は、平成17年2月に1市2町5村の合併により誕生しました。平成25年4月現在で、人口11万3,074人、世帯人口4万、388世帯、65歳以上人口の占める割合が22.5%という市です。

本市は、金沢市の南西部に位置し、白山国立公園や、県内最大の流域を誇る一級河川手取川、日本海など山・川・海の豊かな自然に恵まれた地域です。海岸部から山間部までおよそ2,700mの標高差があり、総面積では、石川県全体の18%を占め、県内最大の広さです。



県内市別平成23年度胃がん検診受診率のグラフです。白山市では胃がん検診については集団検診の胃部レントゲン検査のみを実施しております。

県内の他の市と受診率を比較すると、県平均の14・2%よりも低く、白山市10・3%と県内11市中8位という状況です。(図1)



図1

こちらは、白山市の胃がん検診受診者数推移のグラフです。黄色の棒グラフは受診者数、緑の棒グラフは40～69歳の受診者数を表しています。赤色折れ線グラフは受診率です。(図2)

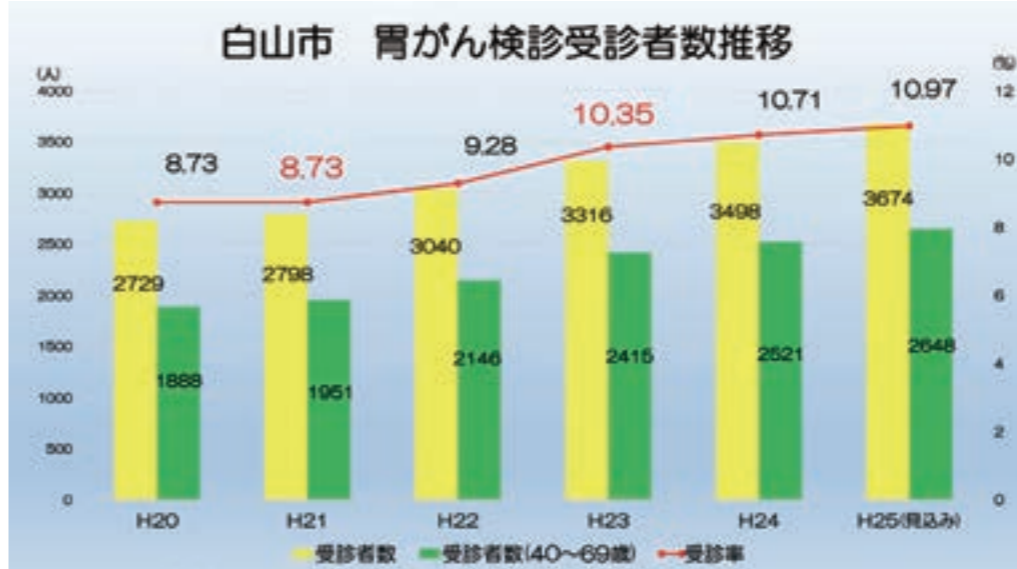


図2

白山市における受診者数の年次推移を見てみると、年々増加傾向にあります。特に40～69歳の受診者数が伸びている状況です。

平成21年度は8・73%の受診率でしたが、この年から特定健診との同時実施による未受診者健診を開始しております。平成23年度には、受診率10・35%と伸びており、52～65歳を対象にダイレクトメールの発送、特定健診受診調査の実施等により、特定健診の受診率が向上したことに伴い、がん検診の受診率向上にもつながる結果となっております。国の目標とする受診率50%と比べまだまだ低率ではありますが、年々増加傾向にある状況です。

参考：平成22年 封書によるダイレクト通知の実施(申し込みハガキ入り)
平成24年 圧着ハガキによるダイレクトメール45歳～65歳(クーポン対象者除く)に発送

こちらは白山市の胃がん検診受診状況の表です。白山市の過去5年間の受診状況を調べたところ、平成25年対象者65,918人中5年連続対象者が55,340人おり、そのうち5年連続受診している人が845人と1・53%という受診率で、逆に5年連続未受診者が49,243人と88・98%という状況で、継続受診者が少ないことがわかりました。(図3)

そこで、今年度の新たな取り組みとして、5年未受診者6,587人に対して、すぐに開封してもらえようように圧着ハガキとし、内容に受診会場や過去5年間受診歴がないことを明記し、受診勧奨通知をいたしました。(図4)

こちらは、先ほどの受診勧奨通知者の受診状況です。5歳刻みで通知しましたが、平成25年10月11日現在の通知者の受診者総数は165人、受診率2・5%という状況です。この結果を踏まえ、今後について、受診勧奨対象者の見直しや市民に対して任意意向調査などの実施。さらに、精度管理などの課題を明確にし、事業評価を

しながら、受診者数の増加や精度管理の向上につながる取り組みをしていきたいと思っております。(図5)

最後に、私たちの働いている保健センターでの検診時の様子です。特定健診やがん検診の垂れ幕を下げ、受診率向上に向けての意気込みを市民の方にも感じてもらえたらと思っております。(図6)

白山市における胃がん検診受診状況

※H25対象者数 65,918人
※通知対象者条件 過去5年連続受診率が無い住民

6年連続対象者(55,340人)の胃がん検診(H20～H24年度)受診状況

受診状況	(人)	割合内訳(%)
5年連続受診	845	1.53
4回受診	692	1.25
3回受診	827	1.49
2回受診	1,193	2.16
1回受診	2,540	4.59
5年連続未受診	49,243	88.98
計	55,340	100.0

図3

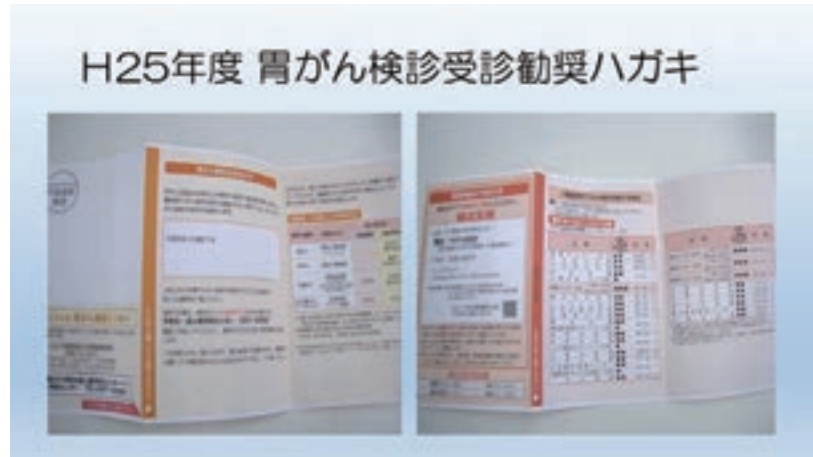


図4

胃がん検診受診勧奨通知受診状況

H25.10.11現在データ

対象者	通知数(人)	受診数(人)	受診率(%)
45歳	1,373	27	1.97
50歳	1,189	32	2.69
55歳	1,285	22	1.71
60歳	1,397	49	3.51
65歳	1,343	35	2.61
合計	6,587	165	2.50

図5



図6

石川県成人病予防センターでは、教育普及活動として各種講演などを行っています。ここでは2013年5月に、七尾市の検診担当者を対象として行った「胃がん検診」についての講演内容をご紹介します。



1

はじめに

現在わが国での「がん」による死亡は、「心疾患」、「脳血管障害」を含めた日本の三大死因に数えられ全死因のトップとなっています(図2)。その中で、肺がん、大腸がん、また女性に関しては乳がんなどによる死者数が近年増加傾向にあります。逆に胃がんによる死者数は年々減少傾向を示し、今では肺がんに続き第2位、いずれは大腸がんよりも順位を下げると考えられています(図3)。

しかし、その一方でがんにかかる件数(罹患数)は全部位と比較してもいまだに胃がんが第1位となっています(図4)。このことから、胃がんは患者数が多いものの、比較的治りやすく、検診の効果が高いがんだと言えます。

胃がん検診の方法

胃がん検診の方法ですが、エックス線検査、内視鏡検査などさまざまですが、対象規模の大きい集団検診で行われる胃がん検診の方法としてはエックス線を使ったバリウム検査が主流となっています。内視鏡検査は一度にこなせる検査人数がエックス線検査に比べはるかに少なく、検査を行う医師の十分な確保も難しいため集団検診には向きとされません。

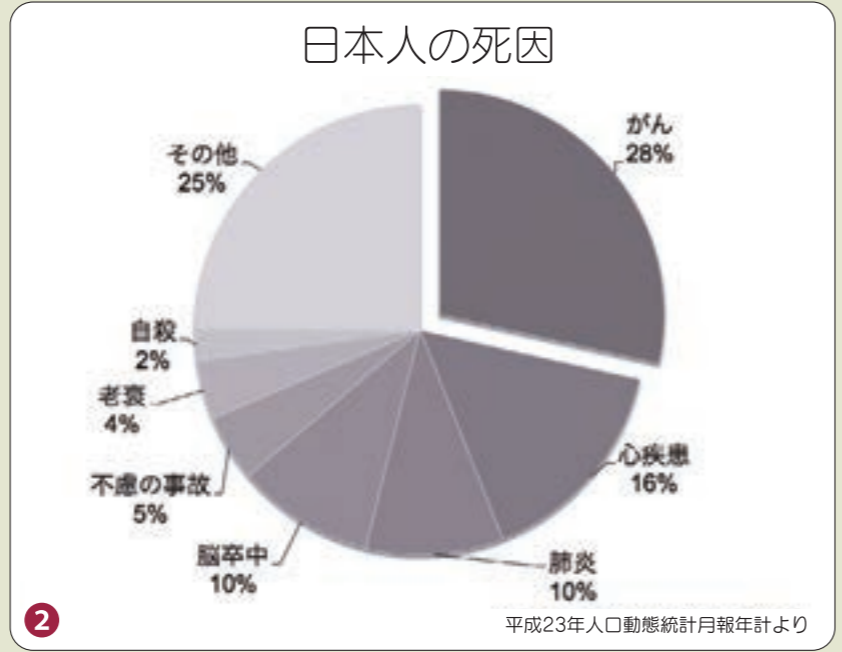
そのほかにも、どのくらい胃がんにかかりやすいかの度合いを調べるリスク検査として、血液から胃の健康状態(萎縮度)を調べるペプシノゲン検査や、ヘリコバクターピロリ菌感染の検査、さらにはその2つを組み合わせたABC検査などがあります(図5)。

バリウム検査

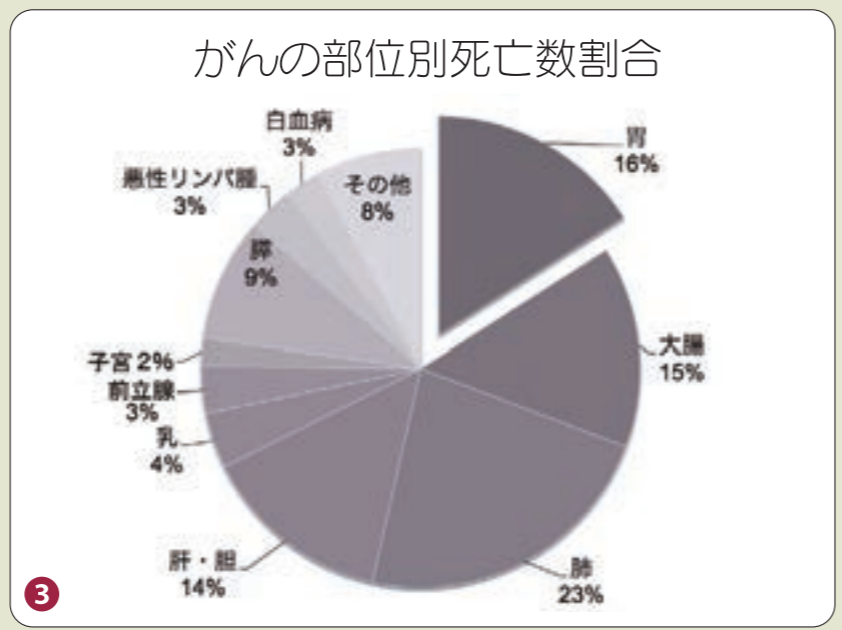
当センターではエックス線を使ったバリウム検査を行っています。はじめに、バリウム(造影剤)と、発泡剤と呼ばれる胃を膨らませる薬の2種類の検査薬を飲んでいただきます。通常、人の胃袋はしわしわにしかんだ状態でもX線写真には写りません。そこで、バリウムなどX線を通しにくい造影剤で色付けする必要があります。また、しぼんだ胃袋のしわの間にはバリウムが行き届かないため発泡剤を使ってしわを伸ばす必要もあります。というわけで、バリウムと発泡剤はこの検査において必要不可欠であり、検査の間、胃を膨らませ続けるためにゲップもこらえていただかなければなりません。

検査が始まると、検査台の上でぐるぐる回ると複数回素早くまわっていただきます。こうすることで飲んでいただいたバリウムを使って余分な胃液を洗い落とし、同時に胃全体にバリウムを薄く均等に広げることができます。こうやってバリウムの付着具合や溜まった部分の状態をみて正常か異常かを判断します。ですが、ゲップなどで胃がしぼんでしまったり、まわる回数が少なかったり、まわる速度が遅かったりすると余分な胃液が残ったり、バリウムの付着にもムラができてしまい不完全な写真にしかならず、正しい判断ができません。バリウム検査ではゲップの我慢や回転は大変重要なので、検査を受ける方にはがんばっていただきます。

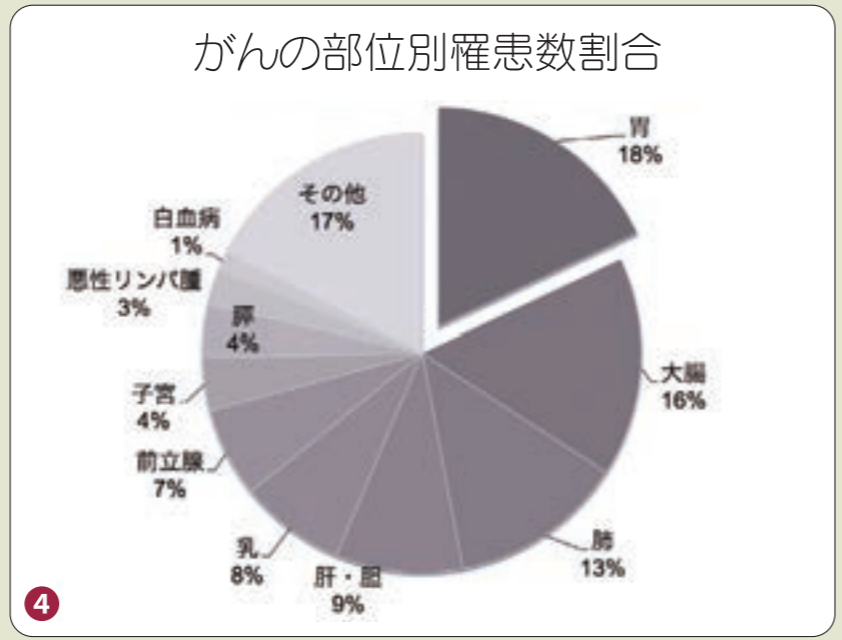
こうして胃の全体にバリウムを付着させてから写真の撮影に入ります。



2



3



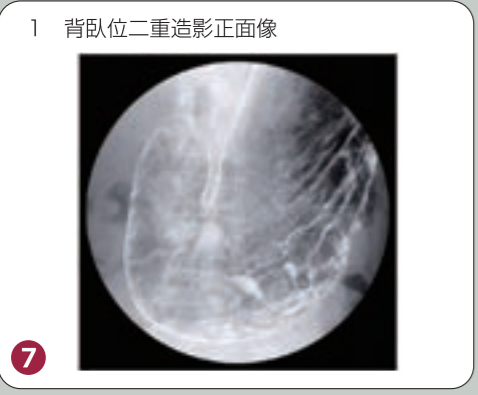
4

- ### 胃がん検診の方法
- 胃X線検査(バリウム検査)
 - 胃の全体の形がよくわかる
 - 胃内視鏡検査
 - 微細な病変でも診断できる。
 - 組織をとり、顕微鏡検査ができる。
 - ペプシノゲン検査
 - ヘリコバクターピロリ菌抗体検査

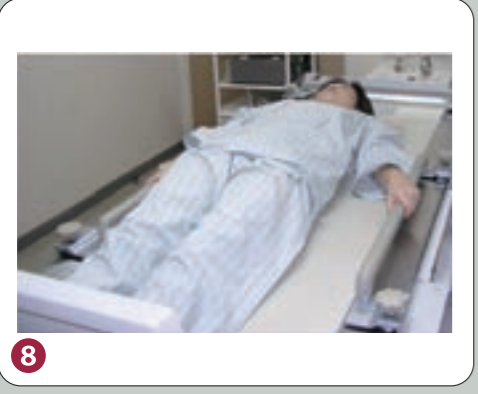
5

- ### 胃エックス線撮影法(8枚撮影+追加法)
- 背臥位二重造影正面像
 - 背臥位二重造影第一斜位像
 - 背臥位二重造影第二斜位像
 - 腹臥位二重造影正面像
 - 腹臥位二重造影第一斜位像
 - 半立位第二斜位像
 - 背臥位二重造影第二斜位像
 - 立位二重造影第一斜位像

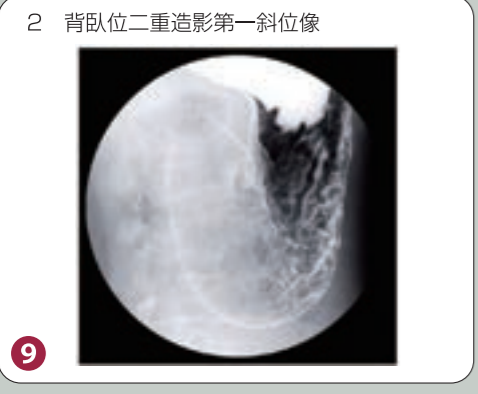
6



7



8



9

胃がん検診について

撮影の実際

さまざまな体勢で違う方向から計8枚の写真を撮っていきます(図6)。必要に応じて追加の撮影を行うこともあります。検査時間は概ね4分程度です。

ここでは、撮影体位を撮影順に説明していきます。まず、撮影台に立っていたら、台を倒していきます。台が倒れたら指示に従ってぐるぐる回っていただきます。基本は右回りです。大変なんですけど、上手に回ると胃の観察がしやすく、きれいな写真が撮れます。

1枚目は背臥位二重造影正面像です(図7)。背臥位とは仰向けになることで、胃の正面から見た背中側、下側を撮影します。まっすぐ仰向けになっています(図8)。写真ではほぼ正面ですが、胃の形は個人差が大きく、人によっては少し右向きになったり、左向きになったりします。

2枚目は背臥位二重造影第一斜位像です(図9)。第一斜位とは体を右前にすることで、少し右腰を持ち上げて、左向きになってもらいます。胃の背中側、左より、下側を撮影します。図10のように右腰を持ち上げます。

3枚目は背臥位二重造影第二斜位像です(図11)。第二斜位とは、先ほどの第一斜位の反対向き、左前の体位です。左腰を持ち上げて、少し右向きになります。胃の背中側、右より、下側を撮影します。体位は図10の反対向きになります(図12)。

4枚目は腹臥位二重造影像です(図13)。腹臥位とはうつ伏せ、腹ばいのことです。右腰を持ち上げて、頭を下げていきます。胸とお腹の間あたりに枕を挟み込むこともあります。この体位では、胃の正面、お腹側の下側を撮影し

ます。大変つらい体位ですが、この体位は大変撮影が難しいところなので、よりきれいな写真を撮るためにがんばってください。このときは、頭が下がった状態で、腰を大きくひねっています(図14)。

5枚目は腹臥位二重造影第一斜位像です(図15)。つらい体位が終わったら、台を起こしていき、うつ伏せのまま左腰を少し浮かせるようにします。胃上部、右寄りお腹側の撮影をします。うつぶせのまま、少し左腰を持ち上げています。ゲップをこらえてください(図16)。

撮影も後半にはいり、6枚目は半立位第二斜位像です(図17)。いったん仰向けになり、右向き真横になります。胃の右側、上部を撮影します。なるべく体全体を横にして、両手は左右の手すりを持っていてください(図18)。

7枚目は背臥位二重造影第二斜位像です(図19)。仰向けに戻り、左腰を少し持ち上げます。胃の背中側を撮影します。左腰は僅かにもち上げる位にしてください。持ち上げる必要の無い方も多くいます(図20)。

最後の8枚目、立位二重造影第一斜位像です(図21)。台を起こし、体を少し右前にします。胃の背中側、左より上部を撮影します。立位になり左腰を前に出しています(図22)。これで撮影は終わります。

検査が終わったら

検査終了後は下剤をお渡ししています。バリウムは体の中で吸収されず、長時間放置すると固まってしまう性質があるため、便といっしょにすみやかに体の外へ排出しなければなりません。早期の排便を促すためにも、忘れずに下剤を飲み、水分も普段より多めにすることでバリウムを薄

めてください。食事を摂ることも重要です。(図23)

受診後、要精検となった方へのお願い

検査で異常が見つかった場合には、さらに詳しい検査(精密検査)が必要となります。精密検査を受診した結果の多くは治療を必要としない良性病変であるため、検査で要精検となっても必要以上に不安に思うことはありません。胃がんは早期のうちに発見し治療を行えば、ほぼ100%治ります。一番危険なのは、精密検査を受けないことで胃がんが放置され進行してしまうことです。ですから要精検になったら早めに必ず精密検査を受診しましょう！

最後に

胃がん検診において100%の胃がんを見つけることは大変難しいことです。より見落としが少なくなるように安全面も含めて、十分な注意を払って撮影しておりますので、検査を受けていただく方にもご協力をお願いします。

胃X線検査を受診された方へ

● どうして下剤を飲むの？
バリウムは腸管の粘膜で固けず、消化管で吸収されないため、便といっしょにすべて排出されます。しかし大腸の中で長くバリウムが滞留する場合は、水分だけが吸収されるので固まって便秘になりやすくなります。

● バリウムの便を排泄しましょう！

1. 下剤をコップ2〜3杯の水で飲んでください。
2. 白い便が出るまでは水分を多めに取ってください。
3. 食事も通常どおりしっかりと取ってください。
4. 便秘を感じなくても、定期的にトイレに行くよう心がけてください。
5. 大腸そのものの内二重造影が、白い便がでます。

胃痛、便秘に経過のある方や下剤を飲んだことがない方は、痛みを感じる場合がありますので様子を見て服用してください。下剤を飲んで2〜3日以内に経過がない場合は、医師にご相談ください。

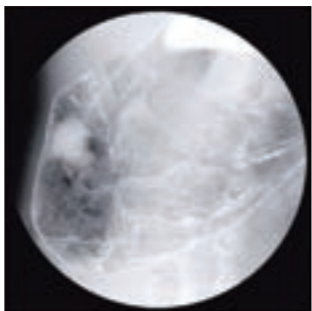
公益財団法人 胃がん検診センター

23



10

3 背臥位二重造影第二斜位像

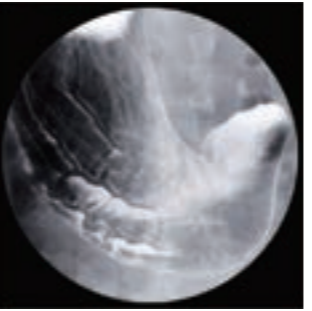


11



12

4 腹臥位二重造影像

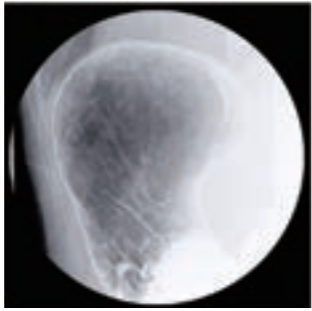


13



14

5 腹臥位二重造影第一斜位像



15



16

6 半立位第二斜位像

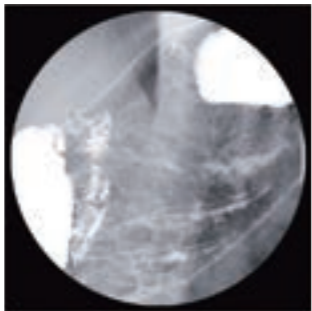


17



18

7 背臥位二重造影第二斜位像(振分け)

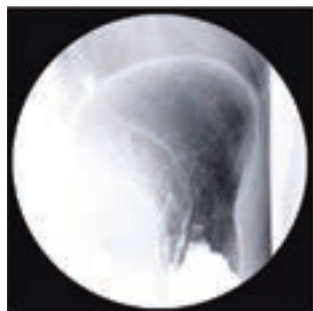


19



20

8 立位二重造影第一斜位像



21



22



石川県成人病予防センター 啓発活動のあれこれ



私立幼稚園協会研修会



健康フェスタいしかわ2013



健康フェスタいしかわ2013



ピンクリボンプロジェクト事業



ピンクリボンプロジェクト事業



ピンクリボンプロジェクト事業



金沢・健康を守る市民の会



ピンクリボンプロジェクト事業

9月

- 1日(日) ●がん征圧月間 啓発新聞広告掲載
- 5日(木) ●健康増進普及月間 北國新聞広告掲載
- 15日(日) ●かなざわピンクリボンプロジェクト事業 イオン示野店にてマンモグラフィ体験検診 45人参加
- 28日(土) ●かなざわピンクリボンプロジェクト事業 交流ホールにて乳がんセミナー 100人参加 **乳房再建の話はよかった!! 目がらウロコ!!**
- 29日(日) ●かなざわピンクリボンプロジェクト事業 600人参加 しいのき迎賓館にてメッセージウォーク、マンモグラフィ体験検診、ピンクリボンスイーツ販売など **今年は良い天気でした Tシャツデザインもgood!**

10月

- 26日(土) ●健康フェスタいしかわ2013 産業展示館1号館にて動脈硬化測定 100人参加 **相変わらずの大人気、長〜い列が出来たよ〜**
- 27日(日) ●健康フェスタいしかわ2013 産業展示館1号館にてけんこう1号車内見学及びパネル展示(胃がん)

11月

- 1日(金) ●子宮頸がん検診啓発キャンペーン 200人参加 カフェ ラモーダにて体験者 女優 原千晶さん、河村さんと生駒先生トークショー **若い人も検診は大事だよ!**
- 19日(火) ●私立幼稚園協会研修会 30人参加 教育プラザ富樫にて **安全運転30シク!** 「大腸がんってなあ〜に!」講師 金沢赤十字病院副院長 西村 元一先生
- 30日(土) ●東海北陸消化器がん検診学会 浜松市にて白山市の胃がん検診の取り組みについて発表 白山市健康増進課 竹内 映子保健師 **お疲れ様でした**

12月

- 22日(日) ●マンモグラフィ読影講習会 金沢市保健所にて「乳がん検診をめぐる最新情報」講師 福井県済生会病院 笠原 善郎先生 グループ講習あり 指導医の先生方 **いつも読影ありがとうございます。**

3月

- 15日(金) ●循環器健診従事者 尿検査研修会 34人参加 センターにて
- 19日(火) ●検(健)診従事者 講習会 80人参加 センターにて **精度管理が大事...**

4月

- 9日(火) ●「子宮の日」北國新聞広告掲載
- 13日(土) ●第34回金沢健康づくりフェア 喫煙者肺レントゲン写真も展示 健康プラザ大手町にてテーマ「タバコと健康」肺年齢測定143人 尿検査190人
- 14日(日) ●羽咋市健康推進員研修会 100人参加 羽咋市役所にて「乳がんの現状とマンモグラフィ検診」講師 成人病予防センター 金井 麻由香技師
- 26日(金) ●肺がん検診啓発ポスター作成 200部配布

5月

- 11日(土) ●いしかわ大腸がんサポーターズ事業 50人参加 カフェ ラモーダにてセミナー「健康と美」ウォーキング&トークショー
- 12日(日) ●いしかわ大腸がんサポーターズ事業 600人参加 赤羽ホールにて清水国明トークショー **笑いあり涙あり! 元気もらったヨ〜** 便潜血検査キット無料配布 健康ジュース試飲など 交流ホールにて
- 26日(日) ●禁煙フォーラム2013 しいのき迎賓館にて動脈硬化測定 42人 肺年齢測定 90人 **初参加、たくさん参加ありがとう!**

6月

- 1日(土) ●百万石踊り流し参加
- 16日(日) ●金沢・健康を守る市民の会 研修会 80人参加 健康プラザ大手町にて「大腸がんについて」講師 金沢赤十字病院副院長 西村 元一先生
- 23日(日) ●金沢ミニ健康フェア 戸板小学校にて動脈硬化測定 43人 乳がん予防 25人

7月

- 1日(月) ●電柱広告看板設置(県内検診会場近く 33本)
- 6日(土) ●金沢・健康を守る市民の会 研修会 85人参加 泉野図書館にて「乳がんについて」講師 県立中央病院診療部長 吉野 裕司先生
- 11日(木) ●がん検診啓発セミナー 200人参加 金沢学院大学にて「美力アップセミナー」講演 講師 道端アンジェリカ **スリム、美しい〜**
- 15日(祝) ●加賀市生活習慣病予防セミナー 97人参加 市民会館にて「大腸がんってなあ〜に!」講師 金沢赤十字病院副院長 西村 元一先生 便潜血検査キット配布 12人
- 28日(日) ●金沢・健康を守る市民の会 研修会 70人参加 金沢市保健所「胃がんについて」講師 成人病予防センター理事長 素谷 宏先生 **まだまだ多い「がん」ですよ〜**



循環器健診従事者 尿検査研修会



検(健)診従事者 講習会



健康づくりフェア



羽咋市健康推進員研修会



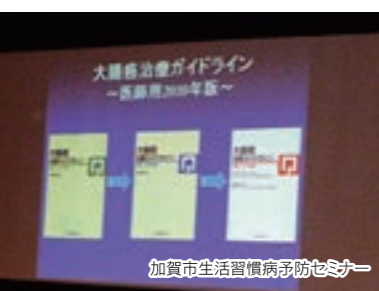
大腸がん啓発イベント



大腸がん啓発イベント



金沢・健康を守る市民の会



加賀市生活習慣病予防セミナー



がん検診啓発セミナー



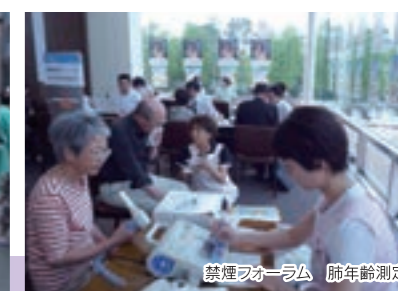
金沢ミニ健康フェア



金沢・健康を守る市民の会



百万石踊り流し参加



禁煙フォーラム 肺年齢測定

10月 The Campaign in October

- 10/ 1 **実施イベント** ●「がん検診受診率向上キャンペーン月間」
《金沢駅もてなしドーム》
- 10/ 1～ 2 ●「アピタ金沢ベイピアコ」
- 10/ 3～ 4 ●「文苑堂書店 TSUTAYA 金沢」
- 10/ 7～ 8 ●「イオンもりの里店」
- 10/ 9～10 ●「イオン御経塚店」
- 10/11 ●「香林坊アトリオ」歩道
- 10/15～16 ●「イオンタウン示野店」
- 10/17～18 ●「名鉄エムザ」歩道及び中央コンコース
- 10/19 **参加イベント** ●「アビオシティ加賀店」
- 10/20 **参加イベント** ●「城北病院 健康まつり」
- 10/21～23 ●「アピタ金沢店」
- 10/24～25 ●「アピタ松任店」
- 10/27 **参加イベント** ●「健康フェスタいしかわ 2013」
《石川県産業展示館1号館》
- 10/28～29 ●「アル・プラザ金沢店」
- 10/30～31 ●「イオン金沢店」

11月 The Campaign in November

- 11/ 3 **参加イベント** ●第24回「はぎの郷まつり」《津幡町》
- 11/ 5～ 6 ●「PLANT-3 川北店」
- 11/ 7～ 8 ●「イオンタウン文苑堂書店 TSUTAYA 示野店」
- 11/11～12 ●「イータウンファッションセンターしまむら高柳店」
- 11/14～15 ●「イータウンアルビス高柳店」
- 11/18～19 ●「金沢中央郵便局」
- 11/25～26 ●「アル・プラザ金沢店」

8月 The Campaign in August

- 8/10 **参加イベント** ●「ミリオンスターズ「小松応援デー」
《小松弁慶スタジアム》
- 8/19～23 ●「いしかわ総合スポーツセンター」
- 8/26～27 ●「クスリのアオキ」《金沢市内 / 前半12店舗》
- 8/28 ●「ユニテッド シネマ金沢」
- 「コロナ・ワールドシネマコンプレックス」
- 8/29～30 ●「クスリのアオキ」《金沢市内 / 後半12店舗》

9月 The Campaign in September

- 9/ 1 **参加イベント** ●穴水町「健康長寿のまちづくり推進大会」
《キャッスル真名井》
- 9/ 2～ 6 ●フィットネスクラブ「エイムーンフォート」
- 9/ 9～13 ●「いしかわ総合スポーツセンター」
- 9/15 **参加イベント** ●「かなざわピンクリボンプロジェクト」《イオンタウン示野》
- 9/17～18 ●「ホームセンタームサシ金沢店」
- 9/19～20 ●「石川県立美術館」“俵屋宗達と琳派の美術展”
- 9/24～25 ●「ホームセンタームサシ金沢南店」
- 9/26 **実施イベント** ●いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会 開催
《いしかわ総合スポーツセンター第1会議室》
- 9/29 **参加イベント** ●「かなざわピンクリボンプロジェクト」
「メッセージウォーク 2013」《しいのき迎賓館広阪緑地》

いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会の会員数は
139企業・団体及び4健康福祉センター、19市町（平成25年11月現在）



いしかわ総合スポーツセンター

小松弁慶スタジアム

しいのき迎賓館

キャッスル真名井から穴水湾を望む

石川県産業展示館



着ぐるみ
「けんしんくん」

いま健康だから「受けましょうがん検診！」

いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会 がん検診対策プロジェクト室の活動報告

いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会では、政府のがん対策推進基本計画が挙げられているがん検診受診率 50%以上を目指すため、平成23年8月より(公財)石川県成人病予防センター内に県の委託事業として「がん検診対策プロジェクト室」を発足させました。プロジェクト室では、がん検診受診率の向上を図るため数々のイベントへの参加や県内各市町に於いてキャンペーンを実施し、集団検診の情報を伝え、いかに検診会場に足を運んでいただくか啓発活動を行っています。またがん検診対象年齢に満たない若年者には将来を見据えての適切な情報を伝えていくことにも力を入れて活動してきました。そんなプロジェクト室の平成25年度8月から11月までの活動をここに紹介します。



はぎの郷まつりにて



ピンクリボン メッセージウォーク 2013にて



イオン御経塚店にて



香林坊アトリオ歩道にて



エイムーンフォートにて



イオンタウン示野店にて



9/26(木) ●第7回いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会

いしかわ総合スポーツセンター第1会議室にて開かれ、県からの指標と対策の説明があり、各企業団体・市町の20人が出席し、それぞれが啓発活動の現状報告と今後の計画など協議を重ねた。またジュニア野菜ソムリエ 坂井たみえ氏を講師に迎え、研修会を行った。



10/1(火) ●もてなしドームにて「がん検診受診率向上キャンペーン」

10月は「がん検診50%に向けた集中キャンペーン月間」であり、金沢駅東広場もてなしドームにて当協議会のマスコットである「けんしんくん」と応援企業等32名が参加して、配布活動によるがん検診啓発キャンペーンを行った。



アピタ金沢店にて



名鉄エムザ歩道にて



文苑堂書店金沢店にて



ムサシ金沢南店にて



健康フェスタいしかわ 2013にて



アル・プラザ金沢店にて



アビオシティ加賀店にて



いしかわ総合スポーツセンターにて



キャッスル真名井にて



クスリのアオキにて

胸部画像精度管理研究会に参加して

消化器呼吸器検診課 課長 水上 悟

はじめに

結核予防会では胸部検診の精度管理向上のため、昭和59年から「フィルム評価会」を開催してきました。近年はデジタル撮影による検診が増加しており、平成21年からは名称を「胸部画像精度管理研究会」に改め、フィルム、デジタル画像の評価を行い、全国支部に対し技術情報等のフィードバックを行っています。平成24年12月7日、8日の2日間にわたって、東京都清瀬市にある結核研究所において開催された「胸部画像精度管理研究会」に参加しましたので、その概要について報告したいと思います。

参加したのは医師18名、放射線技師59名、機器メーカー19名、本部4名の計100名で、1日目は直接撮影フィルムとデジタル画像の評価を行い、2日目は間接撮影フィルムの評価を行いました。また、1日目は神奈川県がんセンター呼吸器グループの山田先生の講義がありました。

山田先生の講義では、CTでは一目瞭然とわかる所見も、胸部単純撮影では発見しにくい部位にある症例などを紹介した上で、それらの見落としを少なくするために必要な、胸部デジタル撮影における、画像処理の基本的な考え方などについて解説があり、精度管理を行う上で大変有用で、内容のある講義でした。

画像評価

結核研究所対策支援部放射線学科の星野科長からオリエンテーションがあり、その後、フィルム評価を行います。評価方法は、参加者が6班に分かれ、各班

に振り分けられた医師が班長となり、副班長に指名された放射線技師が進行をサポートする形で行われます。評価に当たっては、各班毎の評価のバラツキをなくすため、予め用意された数本のフィルムを全ての班で評価し、そのフィルムを全員でさらに評価し直すことで厳しい評価していた班や、甘めの評価をしていた班などが標準的な評価に合わせるための「目合わせ」を行っています。

評価結果

開会の挨拶で、複十字病院副院長の尾形先生が、昨年の評価結果が非常に厳しいものであったことについて触れられ、不安を抱いていましたが、間接撮影のA評価が昨年より少なかったこと以外はA、B評価が大きく増える結果となりました。

- ①間接フィルム 91本中、A評価が7本(7.7%)、B評価が39本(42.9%)、C上評価が42本(46.2%)
- ②直接フィルム 68本中、A評価が7本(10.3%)、B評価が32本

- (47.1%)、C上評価が26本(38.2%)
 - ②デジタル画像フィルム 150本中、A評価が25本(16.7%)、B評価が79本(52.7%)、C上評価が46本(30.7%)
- 特にデジタル画像の評価が、昨年より大幅に向上しています。

おわりに

全国の各支部では撮影装置のデジタル化が進んでいると思われ、複十字病院の尾形先生が、「病院ではモニタ診断になり、アナログ写真を見るのは久しぶりだ」と言われていましたが、普段から輪郭を強調したデジタル画像に慣れている場合などは、アナログ写真の評価には戸惑うところもあるのではないかと感じます。デジタル画像については、新しい評価基準を設けることの必要性が常々言われてきたことですが、今後はアナログ写真に不慣れた技師でもアナログ写真の評価がしやすいような、新しい基準の追加などを検討してもよいのではないかと感じました。

集団健診においてはアナログ写真がまだまだ使われていくと思われ、今回の評価結果は、各施設でデジタル画像だけではなく、アナログ処理にも手を抜かず精度管理を行った結果だと思われ、ほっとすると同時に、今後もデジタル・アナログの両方で精度管理と撮影技術の向上をしていくように努力していかなければならないと痛感しました。

石川よろこびの会

石川よろこびの会 会長 松井 外貴彦

あけましておめでとぅーいいます。

一年は若い時と同じ24時間の積み重ねの年ですが、年を越えてくると本当に早く過ぎる思いがします。

この一年、会員の中にも再発に苦しむ方、新たにがんになり立ち向かうことになった方と、数々耳に入ってきて「がん」との戦いは尽きません。そんな中で「よろこびの会」の会員方はそれぞれの活動を続けています。

私としては、七尾の会員の方のお世話で能登演劇堂で観た「ロミオとジュリエット」が印象に残っています。若い俳優さんの声が会場に響き、早口になると聞き取りにくくなるのですが、仲代達矢さんは低音ですが、言葉がそのまま耳に入ってくる感じがしたのです。80歳になるとのことですが、歳を重ねることも悪くはないと思わせてくれたのです。情熱に溢れるその姿からは見ている人の心を温かく包んでくれるようなオーラが出ていました。

私たちが、年々歳を重ね、おまけに「がん」を体験しました。そのことでめげることなく「がん」でも悪くはないと思えるような生き方をしたいものです。



2013年 石川よろこびの会 総会

お問い合わせ・入会申し込みは…

公益財団法人 石川県成人病予防センター内
石川よろこびの会事務局
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
TEL. 076-237-6262 (代表)・FAX. 076-238-9207
URL <http://www.kenshin-ishikawa.or.jp/>
E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp

結核予防の募金 複十字シール運動をPR 竹中副知事を表敬訪問

結核予防を呼びかけ募金活動を行う「複十字シール運動」が8月1日から12月31日まで実施されました。運動開始初日の8月1日に県結核予防婦人会の藤多典子会長と結核予防会石川県支部の山田正人専務理事をはじめ担当者で県庁を訪れ、竹中博康副知事に運動への理解と募金の協力をお願いしました。表敬訪問の後、めいっつエムザ前で、藤多典子会長と担当者で街頭啓発活動を実施しました。



2013年 複十字シール運動 表敬訪問

結核予防週間 街頭啓発活動実施 しいのき迎賓館広場にて

9月24日から9月30日までの結核予防週間中の29日に、金沢市しいのき迎賓館広場にて、結核やがんのリーフレットとシャープペンなどが入った広報物500部を配布しました。今年度は「シールぽっや」のキャラクターグッズであるパンチングボールを会場に置き、複十字シール運動をアピールしました。会場では「ピンクリボンウォーク」の行事が催されており、多くの来場者に結核は現在も重大な感染症であることを訴えました。



2013年 街頭啓発活動



これからもよろしく! センターのロゴマークです



公益財団法人 **石川県成人病予防センター**

日本対がん協会石川県支部・結核予防会石川県支部

マークコンセプト 石川県のイニシャル「i」と成人病予防センターのイニシャル「S」との間のシルエットをモチーフにデザイン。イメージは駆けつけ寄り添う天使や看護師の如く、熱心に検診する技術の如く、石川県と太陽の如く。

長い間、ご苦労様でした。

「あつという間の十六年」



山本 千恵子

超高齢化社会を迎え、医療行政は治療から予防へと転換する中、生活習慣病各種がん検診等、予防医療業務に携わってまいりましたが、昨年九月、引退いたしました。

少しの間「がん検診のお手伝い」のつもりが、気がつけば十六年の歳月が流れておりました。

最初の頃は患者様から健常者への対応の変化に戸惑いもありましたが、早朝・夜間検診、南加賀から奥能登へと石川県各地を廻り、貴重な経験をさせていただきました。

この数年間で検診は多様化し、また検診車も順次スマートな新車が導入されてきましたが、私には古い「そよかぜ号」が強く印象に残っています。いつだったか輪島市内から大沢へ移動中、山越えで車がエンストして動かなくなり、随分心細い思いをしたこと等、今はとても懐かしく思い出されます。

また、胃がん検診車もデジタル車が導入されました。車内は明るく、更衣室はプライバシーが保たれ、ご利用の方からの苦情

もなく、車内でゆったり待っていただけのように感じました。昇降口の段差も配慮されており、出入り口に付いたテントで雨の日でも安全、敏速に業務が流れます。

小松市の早朝検診の時、受診者の方から「今年も元気で会えてよかったあ。来年もまた、元気で会おうね。」と励まされたり、また、技師さんには貴重なご指導を、職員の方々にも沢山助けていただきました。本当にありがとうございました。

臨床看護から予防医療へと五十年余り、ただひたすらに走り続けていたような気がしますが、その間お世話になった上司、同僚、また協力してくれた家族に感謝し、穏やかに余生を楽しみたいと思っております。

成人病予防センターの今後ますますのご発展と、職員の皆様のご健勝をお祈りいたしております。



編集後記

公益財団法人として一層の啓発普及活動に力を注いできました。

2009年度からの「がん検診推進事業（無料クーポン事業）」の対象層（乳がん、子宮頸がん）への配布が大きく変わろうとしている状況ですが、今後厚労省のがん検診受診勧奨事業に高い関心を持って情報収集に努め、速やかに対応したいと思っております。

市町・企業の皆様との繋がりを大切に、おもてなしの精神で検診（健診）事業に取り組みまいりますので、よろしくお願いたします。

（編集委員会）